

登録コード	L1830400	開講年度	2026				
担当教員	豊岡 康史			副担当			
授業科目	東洋史特論Ⅳ【EA】						
英文授業名	Lecture of Asian History IV						
授業タイトル	港澳台概論						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室			遠隔授業科目	該当	読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。 【思索力・受容力・批判力】			⇔	広義の中華圏をめぐる現状を歴史的に説明できるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働						
全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース						
授業の概要	【この授業は、完全オンライン・オンデマンドの授業です。4月の授業開始から毎週火曜ごろに動画を公開、質問締め切りは金曜にします。詳しい日程はeALPSのこの授業のページをご覧ください。】 中華人民共和国の経済発展に伴って、東アジアにおける国際関係は、冷戦期の構造から大きく変容しつつある。その変容を、香港・マカオ・台湾・シンガポールなど、中国語がある程度通用する地域、すなわち中国であって中国でない地域の歴史的展開を踏まえて考える。						
授業計画	1：ガイダンス 2：マカオ（1）：海賊退治の褒賞をもらう海賊 3：台湾（1）：日中を結ぶミクロネシアの端 4：台湾（2）：清朝の植民地化 5：マカオ（2）：「繁栄の時代」 6：シンガポール（1）：イギリス帝国の東漸 7：香港（1）：華南と南洋をつなぐ自由港 8：マカオ（3）：時間が止まった町 9：香港（2）：ブラック・クリスマス 10：台湾（3）：“豚”が来るまえ 11：香港（3）：ブルース・リーは誰を殴るのか 12：台湾（4）：戒厳令の時代 13：香港（4）／マカオ（4）：世界一のカジノ、雨傘と消えた書店主 14：台湾（5）：ひまわりと霧島英文 15：総括 授業アンケート						
成績評価の方法	eALPS上の質問掲示板への質問書き込み（50点）と、学期末に提出するレポート（50点）をあわせて満点を100点とし、評価をおこなう。 レポートの課題は「特定地域における“言語・文化を国境線”」。任意の地域・時代を自分で選び、研究書・論文をもとに論じること（注のないウェブ記事は認めない）。5000字程度を目処とする。一人称の使用も認めない。具体的な題目は提出時に自分でつけること。締切は授業開始後に指示する。						
成績評価の基準	質問の評価基準 1）講義内容を踏まえていること、2）内容の理解に資するような疑問を挙げていることの2点を基準として毎回3点満点で採点する。その回の質問について、すでに他の受講生が掲示板に書き込んでいるものについては、評価の対象としない。 レポートの評価基準 1）形式（書式・注・参考文献の表記など）1割、構成（小見出しなど）2割、引用史資料の質（学術的な史資料を利用しているか）3割、正確性3割、結論の斬新さ1割とし、各項目ごとに採点し、満点が50点となるように調整する。 おおむね、講義の内容を踏まえた発言が出来れば「その水準にある」 講義の内容を踏まえ、その内容の理解に資する発言ができ、的確な史資料を利用したレポートが提出できれば、「やや上にある」 講義の内容を踏まえ、その内容の理解に資する発言ができ、的確な史資料を利用し、形式などの整ったレポートが提出できれば、「かなり上にある」 講義の内容を踏まえ、その内容の理解に資する発言ができ、的確な史資料を利用し、特定地域の近代性について深い理解を示す、形式などの整ったレポートが提出できれば、「卓越している」と評価する。						
事前事後学習の内容	講義は一回ごとに完結するが、その内容は別の回の内容と関連している。配布レジュメを利用し、事後学習によって全体像をつかむこと。 下記参考書及び毎回紹介する参考文献を読み込むこと。						
履修上の注意	後期第一週から、毎週火曜までには動画を公開し、質問締め切りを金曜にする予定。						

履修上の注意	質問が入力されてないと成績評価の対象にもならないので、注意されたい。 重複もダメ（早めに入力したほうがずっといい、締切間近だと、重複でハネられる可能性が高まります）
質問、相談への対応	授業内容に関わるものについては、質問掲示板で受け付ける。その他はメール（toyooka@shinshu-u.ac.jp）で受け付ける。
教科書	使用しない。毎回資料を配布する。
参考書	伊藤潔『台湾』（中公新書、1993年） 岩崎育夫『物語 シンガポールの歴史』（中公新書、2013年） 殷允ペン『台湾の歴史』（藤原書店、1996年） 川島真ほか『日台関係史 1945 - 2008』（東京大学出版会、2009年） 邱淑ティ；『香港・日本映画交流史』（東京大学出版会、2007年） 久保亨ほか『現代中国の歴史—兩岸三地100年のあゆみ』（東京大学出版会、2008年） 倉田徹『中国返還後の香港』（名古屋大学出版会、2009年） 倉田徹、張イクマン『香港 中国と向き合う自由都市』（岩波新書、2015年） 塩出浩和『「可能性」としてのマカオ』（亜紀書房、1999年） 周婉窈著、濱島敦俊ほか訳『図説 台湾の歴史』（平凡社、2007年） 白石隆『海の帝国』（中公新書、2000年） 白石隆、ハウ・カロライン『中国は東アジアをどう変えるか』（中公新書、2012年） 鶴見祐輔『正伝 後藤新平』（全8巻 別冊1、藤原書店、2004 - 07年） 東光博英『マカオの歴史：南蛮の光と影』（大修館書店、1998年） 豊岡康史『海賊から見た清朝』（藤原書店、2016年） 中嶋峰雄『香港回帰』（中公新書、1997年） 濱下武志『香港 アジアのネットワーク都市』（ちくま新書、1996年） 久未亮一『香港 「帝国の時代」のゲートウェイ』（名古屋大学出版会、2012年） 若林正丈『台湾抗日運動史研究（増補版）』（研文出版、2001年） 若林正丈『台湾』（ちくま新書、2001年） 若林正丈『台湾の政治—中華民国台湾化の戦後史』（東京大学出版会、2008年） 若林正丈『現代台湾政治を読み解く』（研文出版、2014年） 若林正丈・家永真幸編『台湾研究入門』（東京大学出版会、2020年）